



川口真名美さん (32歳)
=片瀬町1=



第3回目は、大阪市（奈良県出身）からIターンした、川口さんにインタビューしました。

▶Iターンしたきっかけは…

きっかけはスノーボードです。3年前から本格的にスノーボードをはじめ、もっと頻りに滑りたいという思いから、2年前に看護師をやめ、スキージャム勝山で住み込みのアルバイトを始めました。その間、勝山の豊かな自然やまわりの方々の優しい人柄にふれていく中、(株)東急リゾートサービス スキージャム勝山に就職、移住することに決めました。

▶移住して良かったことはなんですか

1番は、すばらしい自然があることです。職場がスキージャム勝山ということもありますが、冬だけでなく、年間を通してすばらしい景色が楽しめることは、本当に贅沢だと感じています。ぜひこの感動を皆さんにも味わっていただきたいですね。

▶U・Iターンを考えている方へ

私の場合は、いきなり引っ越しではなく、アルバイトをしながら徐々に勝山市に親しんでいきました。勝山市にもお試しで住める制

度があるので、積極的に活用してみてもいいのでは？

市役所からのお知らせ
U・Iターン者限定！
移住者交流会 (BBQ)
と き▶7月9日(日) 午前10時45分～午後2時30分
ところ▶かつやま恐竜の森
参加費▶2,000円
定員▶10人
申込期限▶6月30日(金)
申・問 ふるさと創生・移住課 (市役所2階) ☎88-8130 iju@city.katsuyama.lg.jp



平野氏庭園

家は白山参詣者に宿を貸し、馬を常時2、4、5匹備えていた。また庭が見事なことでも知られていた(平野氏談)

今回は野向町深谷区を紹介します。当区では「だんご祭」が毎年4月29日に行われます。深谷村の名は早くも天文21年(1552)の史料に見られる。近江国の比良に住んでいた比良野(平野)信照(深谷平野元祖 後に勝山藩大庄屋)が家臣50騎とともに、深谷村に落ちのびたのは元龜2年(1571)である。深谷村の村高は「五八一石五斗九升」で、福井藩支配の時代を経て幕末まで小笠原勝山藩の支配を受けた。慶長10年(1605)頃の『慶長国絵図』にその名はない。これは恐らく当初は新在家村、聖丸村、当村の三村で新在家村を称していたからと考えられる。その後、太閤検地を経て三村は独立した。当村は江戸時代に白山に向かう通路に当たり、先の平野

家は白山参詣者に宿を貸し、馬を常時2、4、5匹備えていた。また庭が見事なことでも知られていた(平野氏談)



地域文化を掘り起こそう③
市史編纂室 山田 雄造

成28年県指定文化財)。

明治6年(1873)の戸数は58戸、人口306人、牛1匹、馬20匹。物産は生糸・煙草・菜種・繭などである。背後に聳える高尾山は、『貞享国絵図』によれば「小城跡山」とあり、今も山頂付近にその遺構が残る。山頂に祀られている白山神社は、平野家当主が白山参詣の折、御神体(木像)を頂いて帰り、屋敷の一角に祀ったものである。その後、村が幾度も雪崩などに遭ったため、村人が平野家と相談し、村を守るため山頂に移したと伝えられている。以後、被害にあうことがなくなり、山祭りをを行うようになった。

かつての山祭り(後のだんご祭)は5月3日に行われ、区民一同が高尾山に登り神社に詣でた。五穀豊穡・豊蚕・家内安全を祈願し、自家でとれた農作物を重箱に詰めた手料理をもちより、社前で直会の宴が催された。その際、欠かせないのが春の若いヨモギ入りの団子で、これを各家で作る。形は高尾山の孤峰を真似た三角型で、団子は親類一同にも配られる。手料理と団子で日中は歓談の一時を楽しみ、夜は山麓の梅本神社境内で踊りが行われた。初踊と称する踊りで、近隣の部落からも集まり、踊りは夜更けまで続けられた。

顔面けいれん、眼瞼けいれん

福井勝山総合病院 脳神経外科 中島 毅

顔面けいれん、眼瞼けいれんはご存じですか？
顔面けいれんとは…
目の開閉や笑うとき、口の開け閉めにかかわる筋肉が勝手に収縮したり、弛緩を繰り返してピクピクする病気で、40歳以上に多く、やや女性に多いようです。
初期の頃は、目の周囲だけがピクピクします。この症状は、話す、笑う、食べるなど、目や口を動かしているときにややすく、また緊張すると出る人もいます。病状が進行すると、四六時中、顔全体がピクピクします。

片側の顔面神経が、血管(動脈)に接し、常に刺激させられていることが最も多いです。顔面神経は、運動神経で痛みは伴いません。なかには血管でなく腫瘍や血管のこぶが神経に接していることもあるので、一度はMRIによる画像診断することをおすすめします。



眼瞼けいれんとは…自由が目が開けにくくなり、瞬きが増えたりする病気で、「まぶしい」、「目が乾く」あるいは「自然と両目あるいは片目が閉じてしまう」といった自覚症状があります。健康な人にも出る「眼瞼ミオキミア」(過労や睡眠不足で、眼周囲の筋肉のごく一部だけが虫の這うように動く症状)という病状と間違われませんが、この病状は、生活の改善で自然に治ります。

ボトックスという治療薬が有効です。食中毒などで有名なボツリヌス菌から抽出されるたんぱく質の一種で、これを顔面けいれんや眼瞼けいれんを起こす筋肉に皮下注射(通常10か所程度)すると、驚いたことに2〜3か月はけいれんが止まるようになり、開頭手術療法もあります。開頭手術療法もありませんが、体の負担も大きいいため、ボツリヌス治療が第一選択となっています。

当院でも治療を行っておりますので、お困りの方は、ぜひお越しください。

治療方法は？
ボトックスという治療薬が有効です。食中毒などで有名なボツリヌス菌から抽出されるたんぱく質の一種で、これを顔面けいれんや眼瞼けいれんを起こす筋肉に皮下注射(通常10か所程度)すると、驚いたことに2〜3か月はけいれんが止まるようになり、開頭手術療法もあります。開頭手術療法もありませんが、体の負担も大きいいため、ボツリヌス治療が第一選択となっています。

恐竜博物館行事案内

- 6月18日(日) 博物館自然教室 「肉食獣の歯を調べよう」
 - 6月25日(日) 博物館セミナー 「地球と生命の物語③ 骨から読み解く恐竜の姿」
 - 7月2日(日) 博物館自然教室 「恐竜のくびを調べよう」
 - 7月16日(日) 博物館セミナー 「地球と生命の物語④ 恐竜の卵と巣のなぞ」
- ※詳しくは恐竜博物館のホームページをご覧ください
休館日 6月14日(水)、28日(水)、7月12日(水)
問 県立恐竜博物館 ☎88-0001 http://www.dinosaur.pref.fukui.jp/

緊急メールサービスの登録はお済みですか？

防災無線が聞き取りづらい状況でも、防災情報や気象警報を知ることができます。まだ登録されていない方は、ぜひご登録ください。
問 総務課 (市役所2階) ☎88-1116



QRコードを読み取り空メールを送信



行ってみよう 湯ったり勝山

湯ったり勝山では、わなげ講座や囲碁・将棋講座を行っています。ボランティアさんが優しく教えてくださいますので、初心者でも安心して始められます。ボランティアまたは参加者として各種講座に、ぜひお越しください。

○囲碁・将棋講座

と き▶ 毎月第1、3木曜日 午後1時30分～3時



○わなげ講座

と き▶ 月1回 午前10時30分～11時30分



詳しくは広報お知らせ版をご覧ください。

6月11日(日)は「湯ったりの日」 午前10時～ 「わくわく遊びコーナー」 輪投げや的当て、脳トレなど

申・問 地域包括支援センター「やすらぎ」(すこやか内) ☎87-0900